

福岡県

# 教育新聞

福岡市東区馬出4丁目12番22号

福岡県教職員組合

TEL (092) 631-4611

編集発行責任者/西田泰章

福教組ホームページ

<http://ftu-net.jp>



## 2026年度のとりくみ方針を決定！ 組合の総力を結集し、運動の前進を図ろう！ 福教組第一〇五回定期大会

6月6日(土)、福岡県教育会館において福教組定期大会が開催され、26年度のとりくみ方針を決定した。代議員58人、傍聴23人の参加に加え、来賓が34人参列した。一般討論では24本、総括討論では2本の討論が展開され、各支部の課題やとりくみが報告された。なお、女性参画率は、39.7%だった。

### 藤井委員長あいさつ(一部抜粋)

昨年福教組が行った勤務実態調査によると、教員の1月あたりの平均時間外労働時間は、小学校が約9.6時間、中学校が約13.1時間でした。いずれも平均値が過労死ラインである月80時間を大幅に超えている状況です。

こうした中、昨年6月、給特法が改正され、「29年度までに教員の1月あたりの時間外在校等時間を平均30時間程度まで削減する」と法に明記されました。こうした点を踏まえ、予備授業時数の確保を中止・最少化させるとともに、学校教育において本当に必要な業務以外は徹底して削減または簡略化させるといふことを分会・支部・本部が一体となって追求していきましょう。

次に、子どもをめぐる状況ですが、文科省は24年度の不登校の子ども数が、小中合わせて全国で35万人を超え、過去最高となったことを公表しました。福岡県においても2万人弱、県内の子ども約5%が不登校という状況です。

なぜこれだけ増えているのか、1つの大きな要因として指摘されているのは、学習指導要領の影響です。この間、学習指導要領が改訂されるたびに、学習内容や授業時数が増やされ、子どもに過剰な負担を強いているのが現状です。

こうした状況のなか、8月には「各教科についての改訂案」、12月には「最終的な改訂案(答申案)」が中教審から示されるとともに、それぞれについて意見募集が行われます。

すでに、昨年9月に、指導要領改訂の大きな方向性を示す「論点整理」が中教審から示されましたが、この「論点整理」では、「学習内容は精選すべき」とする一方、「授業時数は現状維持でいくべき」とされました。

「授業時数は減らさない」ということになれば、子どもたちの「ゆとり」「余白」を生み出すことはできません。「学習内容を減らすのであれば、授業時数も減らすべき」ということを、子どもの実態をよく知る私たちがしっかりと訴えていきましょう。

続いて、政治と平和をめぐる状況ですが、今年4月、高市内閣は「防衛

装備移転三原則」の改定を閣議決定し、殺傷能力のある武器の輸出を全面的に解禁しました。  
また、例外として、「日本の安全保障に関わる地域で戦闘が起こり、同志国が武器を必要としている場合」などには、紛争中の国に武器の輸出を認めるとしています。

日本国憲法第9条では、国際紛争を解決する手段として、「武力による威嚇」、あるいは「武力の行使」を放棄すると定めており、この決定は憲法理念に全く反することです。  
今後、高市政権は、憲法改悪に向けた動きを強めてくるでしょう。

私たちは、「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンの下、さまざまな団体と連帯しながら、軍事力増強・憲法改悪に反対する大きなうねりをつくりあげていきましょう。

そして、福教組がめざすべきさまざまな目標を実現していくためには、組織の拡大・強化が欠かせません。

周りの仲間ことを気にかけて、支えることを大切にすると同時に、「安心し、意欲を持って働ける職場」「子どもを中心にすえた教育」を一緒につくっていくと伝え、組合に結集する教職員を増やしていきましょう。

また、「学習と交流」を重視し、「何が当たり前とされるべきか」、「その実現に向けて何をすべきか」をみんなが共通確認しながら、運動の強化・前進を図っていきましょう。



## 自動車共済

### 教職員のための特色ある制度

割引制度も充実しパワーアップしました。お気軽に資料&見積りをご請求ください!

日保日全記念

専用フォームから資料&お見積書の請求で『車ピカピカシート』をプレゼント!

詳しくは  
コチラ! >>>



## 教職員共済



【討論の紹介(一部抜粋)】

パワハラを許さないとりくみ

【築上豊前支部 岸本貴洋さん】  
ある小学校で、なかなか教室に入らない児童をA先生が入れようとした時、児童に暴力を振るわれました。怪我をしたA先生は病院で診断書ももらい、労災を申請すると言われ、校長にそれを伝えました。

しかし、校長は、あなたの指導力不足が原因。ナイフで刺されたら公務災害になるが、これは公務災害にはならないなどと発言し、公務災害を認めませんでした。

翌日、外部から指摘を受けたのか態度を豹変させ公務災害を認めましたが、心身ともに深く傷ついたA先生は病休に至りました。

この事案に対し、まずは分会と校長で話し合い、その後弁護士と連携して、労働環境の改善及び管理監督に関する申入書を、支部として委員会に提出しました。

校長は謝罪したものの、公務災害に関する部分以外は完全否認という態度でしたが、これ以上の追及よりも、職場へのスムーズな復帰を優先し、教育委員会とA先生の復帰の仕方について交渉しました。現在、A先生は職場に復帰し、元気に働いています。校長は他町に異動していききました。個人では対応が難しいことでも、解決できるのが組合です。



人権教育・平和学習のとりくみ

【直鞍支部 永翁直美さん】  
直鞍支部には、松岩菩提(しようがんぼだい)があります。

第2次世界大戦中、炭鉱労働者として連れてこられた働きかされていた朝鮮人がたくさんいました。そこで亡くなられた方の菩提は、仲間の労働者がボタを墓石にして弔っていました。しかし、その土地にゴルフ場が建設されることになり、その場所に眠る朝鮮人の方々の遺骨が掘り起こされてしまいました。その場所を、亡き朝鮮人労働者のもとにとり戻し、安らかに眠ってもらいたいという先輩方の熱い想いと苦勞で墓地に戻し、合盟供養塔が建てられました。それが松岩菩提です。

整備作業や供養祭などについて話し合う事務局会には、直鞍支部から3人参加しています。朝鮮総連代表、また民団からも代表が来られます。朝鮮半島の北も南も関係なく会議が行われていることに、私はとても感動しています。思いを一つに話し合うことで何でも解決できるんだっていうふうに感じています。

また、松岩菩提は、人権教育の教材としても活用されていて、小竹町の小学生、中学生は、毎年松岩菩提について学んでいます。これからも組合だからこそできる人権教育、平和学習を引き継いでいきたいと思います。



組拡大キャンペーンのとりくみ

【浮三支部 荒巻憲一さん】  
浮三支部では今年度、200人を加入目標にしている、今の段階で、14人の加入があつています。

「どうやってたらそんなに入るんですか」とよく聞かれますが、組織拡大・強化のとりくみとして、組織拡大とか青年部層にお金をど〜んと使っています。3月から4月半ばまでは加入キャンペーン(今の時期に入ったらクオカード)、今の時期は、ぬちどう宝の旅のキャンペーンをしています。

また、青年部層への補助を手厚くしています。学習会への参加旅費を今年度はさらに強化して、運動の継承というも含めて、お金をたくさん使っています。

じゃあ加入してくれた方々が、お金が目的で入っているかというところではないかと思つています。

普段どんなことを職員会議で発信しているか、子どもどう向き合っているか、未加入の方たちにしつかりと見せていくことが大事だと思つています。

それから、とっても効果があるなどというのは、加入用紙を渡すことだと思つています。

支部でも、加入用紙を渡し、回答・反応まで報告すれば補助費を出すとりくみを進めています。

どんな加入用紙を渡して、県全体で組織拡大を進めていきましよう。ともに頑張りましよう。



【質問】

① 田川支部 鎌裕介さん  
「組織確立に必要な拡大人数」

② 築上支部 岸本貴洋さん  
「管理職によるハラスメント」

③ 田川支部 中村愛美さん  
「持続可能な組合活動」

④ 宗像支部 田中健太郎さん  
「ハラスメント防止・解決」

⑤ 朝倉支部 上野修平さん  
「働き方改革と現場実態」

⑥ 柳み支部 山本麻瑚さん  
「4月始業日までの日数確保」

⑦ 大牟田支部 藤木浩二さん  
「毎週水曜短縮授業」

⑧ 遠中支部 吉村千恵さん  
「学習方法やツールの押し付け」

⑨ 直鞍支部 永翁直美さん  
「松岩菩提に込められた想い」

⑩ 粕屋支部 井上拓海さん  
「働き方改革と子どもの権利」

⑪ 久留米支部 行武秀子さん  
「教研活動をこれからも」

⑫ 三大支部 田中肖子さん  
「AIアプリ活用の実態」

⑬ 三大支部 古賀元子さん  
「持続可能な母女のとりくみ」

⑭ 行京支部 川下翔太さん  
「組合に入らない理由」

⑮ 嘉飯山支部 池末義孝さん  
「組合員の姿と組織拡大・強化」

⑯ 田川支部 鎌裕介さん  
「支部組織拡大目標の達成」

⑰ 浮三支部 荒巻憲一さん  
「組合加入キャンペーン」

⑱ 系島支部 西川栄治さん  
「支部の組織強化のために」

⑲ 久留米支部 高浪喜美香さん  
「語り合える場と組織拡大」

⑲ 久留米支部 島崎一真さん  
「魅力ある活動の発信」

⑲ 八女支部 園田徹さん  
「人間関係づくりと話し込み」

⑲ 筑紫支部 森田悠平さん  
「平和を学ぶフィールドワーク」

⑲ 久留米支部 香月陽子さん  
樋口由香さん  
「8の日行動」

「ひとりを大事にする」

⑲ 柳み支部 木下誠也  
「福政連議員との連携」

【総括討論(賛成討論)】

⑲ 行京支部 後藤賢司さん

⑲ 粕屋支部 宮口香代さん



今回、この新聞で紹介することができなかった皆さまを含め、全ての方の討論は、福教組HP「組合員専用ブログ」にてご覧いただけます。(表面QRコードからアクセス可)コード・パスワード入力が必要ですので、お困りの際は各支部または福教組本部にお尋ねください。